

2004年11月1日

各位

大日本インキ化学工業株式会社
日立化成工業株式会社

不飽和ポリエステル樹脂事業の統合について

大日本インキ化学工業株式会社（社長：小江紘司）と日立化成工業株式会社（執行役社長：長瀬寧次）は、このほど両社の不飽和ポリエステル樹脂事業を統合し、折半出資による新会社、ディー・エイチ・マテリアル株式会社を設立することで合意しました。

不飽和ポリエステル樹脂の国内市場は1991年の年間27万tをピークに減少を続け、2003年には同16万t（対ピーク時59%）となり、この間11万tの需要が減少しています。このシュリンクした国内市場に対し、メーカー数は1991年当時の7社から5社に減ったものの、業界全体の生産能力は1991年の37万tから2003年の30万tとわずか7万tの減少にとどまっています。加えて、輸入品が国内でのシェアを年々拡大しており、需給バランスの改善につながっていない現状にあります。

このような中、両社においても同事業の収益は悪化しており、事業存続に一段の合理化努力が求められています。これまで両社は、昭和高分子株式会社を含めた3社による生産受委託で合理化を進めて来ましたが、生産受委託ではその効果に限界があると判断し、新たに両社による事業統合を決断したものです。

今回の事業統合による新会社は、生産拠点を大日本インキ化学の堺工場内（大阪府高石市）、日立化成の山崎事業所（山崎）内（茨城県日立市）の東西2ヶ所とし、集中生産による効率化を図ります。なお、大日本インキ化学の千葉工場（千葉県市原市）、日立化成の山崎事業所（鹿島）（茨城県鹿島郡）における不飽和ポリエステル樹脂の生産は中止します。

研究開発については、両社の機能を一体化することにより技術のシナジー効果を追求し、新製品開発を加速させます。また、顧客への技術サービス充実のため、両工場内にもそれぞれ研究員を配置します。

これらの諸施策により、新会社は、コスト競争力および技術開発力を強化するとともに、顧客へのサービスの充実を図り、初年度から黒字化を実現します。

以上

新会社の概要

1. 会社名： ディー・エイチ・マテリアル株式会社（略称：DHM）
2. 事業内容： 不飽和ポリエステル樹脂の製造、販売
3. 資本金： 4.5億円
4. 出資比率： 両社折半出資
5. 本社所在地： 東京都千代田区
6. 営業開始予定： 2005年4月1日
7. 営業拠点： 東京、大阪、名古屋、福岡
8. 生産拠点： 堺工場、山崎工場
9. 売上高計画： 約130億円（初年度）
10. 社員数： 約110名

本件に関するお問い合わせ先：

大日本インキ化学工業株式会社 広報・IR部 TEL：03-5203-7838
日立化成工業株式会社 コーポレート戦略室（広報・IR） TEL：03-5381-2375